



小嶋 克文 議員

老朽化ブロック塀の対策について

問 老朽化したブロック塀は、倒壊すれば通行人を死に至らしめるばかりでなく、倒壊したブロック塀は、歩行者や車の交通の妨げになり、二次被害につながります。老朽

化したブロック塀に対する対策は。

答 現状の対策は十分とは言えない。今後は、広報やホームページ等に必要な情報を掲載するとともに、現状調査については、まちづくり協議会など地域の皆さまと連携しながら、対策を検討していきたい。また、所有者に対しても、チラシ等を作成して、適正な維持管理を呼びかけていきたい。

問 通学路のブロック塀の点検は。

答 今後は、通学路の調査等においても、危険と思われるブロック塀の対策も含めて学校関係者と調整・検討を重ねてまいりたい。

問 以前、ブロック塀を撤去して生垣の設置

に対して補助があったが、現在は終了している。老朽化したブロック塀倒壊の危険性は、今後も十分に想定される。新たな補助制度の検討は。

答 県内や近隣市町で補助制度を実施している自治体などを調査し、今後の対策に取り組んでまいりたいと考えている。

災害時医療救護等に関する協定について

問 災害時、刈谷豊田総合病院高浜分院とはどのような協定を結んでいるのか。

答 現在のところ、具体的な協定は締結していません。しかし、高浜分院の移転にあたり、新しい協定書を締結してまいりますので、その協定書の中に「災害時における医療救護所の後方支援を実施する」ことを盛り込んでいくことで協議を行っています。

高浜分院は入院患者を抱えているため、常に医師や看護師がみえることに加え、治療のために必要な医薬品や医療器具も揃っています。非常用の自家発電機能を備えていることもあり、災害時における医療救護所の後方支援機能として、負傷者を受け入れることができると考えています。



内藤とし子 議員

施設の長寿命化を図るため、施設のメンテナンスを徹底せよ

問 5月24日、高取保育園のひさしのコンクリート部分が落ちた。子どもたちに怪我はなかったが、施設のメンテナン

スはどのようになっているのか。

答 連絡があり状況を確認し、業者を呼び他の部分も検査してもらって修理を依頼した。吉浜北部保育園、公立幼稚園4園、社会福祉関係2園についても優先順位を検討、業者による施設点検を行っていく。

学校の老朽化については、平成26年度に高浜中学校の校舎外壁の一部が落下した件では、建設業者による全ての校舎の打診検査を行い、その他の小中学校については平成27年度と今年度、打診検査を実施する予定である。高浜中学校は、今年度劣化の著しい箇所の防水塗装工事を実施する。それ以外の校舎の外壁等については、来

年度以降の工事实施に備えて準備を進める。

高浜小学校等整備事業について

問 市は、高浜小学校等整備事業をPFI方式で進めるとしている。PFIはこの10年余り、公共事業のあり方として進められているが、各地で事業主体の失敗例も多く、経営破たんにも陥っている所もある。検討を要するかと考えるが、どう考えているか。

答 本事業をPFI手法で実施することにしたのは、当市が自ら実施するとした場合では、施設整備段階で、一時に多額の基金の取り崩しをする必要が生ずる。この先、大規模改修が続くことになり、一定金額以上の基金残高の確保が必要である。さらに、事業者が一貫して実施することにより、最適な施設計画や施工計画が可能となる。

問 地域の企業が工事に参入しにくいPFIでは、地元の活性化についてはマイナスであり、一考を要するのではないか。

答 そうしたことも含めて、今、検討している。